



子供たちの 特異な才能を育む学び 一緒に始めてみませんか？

才能のある子供は、年齢や性別、地域を問わず、私たちの身近に存在します。

しかし、その優れた力が、十分に認識・支援されず、

時に誤解され、困難を抱えてしまうこともあります。

適切な環境に恵まれなければ、その可能性は埋もれてしまいます。

愛媛大学教育学部附属才能教育センター(EU-GATE)では、

才能の「見える化」と継続的な支援を通じて、

子供一人一人の「強み」を社会の未来につないでいきます。



才能教育センター
お問い合わせはこちら



あなたの身の回りにいませんか？/ 才能のある子供の行動特徴

特徴 01

好奇心が強く、質問が止まらない。

特徴 02

長い時間、何かにこだわり、熱中する。

特徴 03

語彙が豊富で言語能力が高い。

特徴 04

人とは異なるユニークな経験や行動を好む

特徴 05

理想主義であったり、正義感が強い。

※ここに示すのは、一般的な行動特徴の一部です。

学校から社会へ広がる、特異な才能のある子供たちの学びと支援

typeI クラスでの学びと支援



発展的な課題や自由度の高い表現活動等を取り入れることで、通常の授業の中でも、子供一人一人に応じた挑戦が可能になります。

typeII 学校での学びと支援



教員間で情報を共有しながら、教科横断的な課題や学年を越えた学び等の機会を設けることで、組織的な支援を行うことができます。

typeIII 学校外での学びと支援



大学や研究機関等との連携、地域の講座やコンテスト等への参加を促することで、子供の関心や能力を広げ、深める学びへつなげることができます。

本取組は、文部科学省令和7年度 特定分野に特異な才能のある児童生徒への支援の推進事業
「学校と連携した学習・支援プログラムの提供及び評価の在り方に関する実証研究」の一環として行われています。



日本初

愛媛大学教育学部附属 才能教育センター (EU-GATE) ～強みをチカラに、才能を未来に～



愛媛大学は2025年4月1日、日本初となる「才能教育センター(Centre for Gifted Education and Talent Development, EU-GATE)」を、教育学部附属施設として設置しました。EU-GATEは、特異な才能のある児童生徒に光を当て、その可能性を社会に活かす新たな教育の創造を目指し、愛媛から、新たな教育の扉をひらきます。

文部科学省「特定分野に特異な才能のある児童生徒への支援の推進事業」
3年連続採択



愛媛大学才能教育センターとお茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所の連携協力に関する協定の締結
(2025年7月4日)

01 センター設置の背景

才能のある児童生徒は、年齢や性別、地域を問わず存在します。しかし、その稀有名輝きゆえに、既存の教育の枠組みの中では十分に能力を伸ばせず、困難を抱える子供たちがいるのも、私たちが直面する現実です。才能を活かす環境に恵まれなければ、その可能性は埋もれてしまいます。文部科学省は2023年度から「特定分野に特異な才能のある児童生徒への支援の推進事業」を始動しました。日本の教育における確かな変革の幕開けです。

02 センター設置の目的

愛媛大学教育学部附属才能教育センターは、才能のある児童生徒への包括的かつ実践的な教育支援を推進し、一人一人の「強み」を社会に活かす教育の創造を目指します。附属の幼稚園・小・中・高・特別支援学校の教員が実践知を携えて参画し、国内外から招聘する客員教授との対話と連携により、活動の質を高め、知見の波及を図ります。

03 主な活動内容

- ①日本・アジア太平洋地域における才能教育の拠点として、最新の国際的知見を広く集約し、研究・実践を推進します。
- ②教育機関、自治体、民間団体等と連携し、特異な才能のある子供の学びを支えるカリキュラム・指導法・評価法の開発を行います。
- ③教員や一般を対象とした研修・啓発を通じて、根拠に基づく知見を発信し、才能教育への理解の裾野を広げます。
- ④全国レベルのコンテストや研究メンタリングを通じて、子供が秘めた才能の発掘と継続的な教育・支援を行います。
- ⑤学校現場や地域と連動し、早期相談から連携支援まで、全国的な相談支援体制・ネットワークの構築に取り組みます。



EU-GATE
公式HP



EU-GATE
公式Facebook

実績等

- 2025年度 文部科学省「特定分野に特異な才能のある児童生徒への支援の推進事業」※全国5件中で本学が2件採択
- 2024年 The 18th Asia-Pacific Conference on Giftednessを日本初開催 ※26ヶ国・地域から420名の参加者
- 2023年度・2024年度 文部科学省「特定分野に特異な才能のある児童生徒への支援の推進事業(新規事業)」「(1)特異な才能のある児童生徒に関する研修パッケージの作成」※連続して全国で1件のみ採択
- 2020年 Gifted Academia オンラインセミナーを開始 ※2025年9月末現在716名のフォロワーが登録
- 2019年度 教育学部教職専門科目として「才能教育論」を開講
- 2011年度～2021年度 教員免許更新講習「才能ある子どもの個性や能力を伸長する教育」を開講
- 2010年 Kids Academiaプログラムを開始 ※2025年9月末現在257名の子供が登録 ※2013年野依科学奨励賞受賞

message

子供一人一人の才能と笑顔を、学校と社会へ

私たちの身边には、物事に深く熱中する子供、豊かな語彙を操る子供、強い正義感やユニークな関心を示す子供など、多様な才能を秘めた子供がいます。一方で、発達のアンバランスさや、他者の感情に敏感で傷つきやすい面を持つこともあります。才能と困難を併せ有する子供もあります。本センターは、国内外の研究者・実践者が連携し、子供一人一人の可能性が確かな歩みへつながるよう、活動を重ねてまいります。

才能教育センター センター長・愛媛大学 教授
(才能教育・科学教育) 隅田 学



才能教育センター メンバー紹介

特定分野に特異な才能のある児童生徒に対し、幅広い分野の研究者・実践者が教育実践と理論研究の両面から支援します。



中野 広輔
副センター長・愛媛大学 教授
(特別支援医学)



井上 昌善
愛媛大学 准教授
(社会科教育)



黒田 知則
愛媛大学 教授
(特別支援心理学)



清田 朗裕
愛媛大学 講師
(国語科教育・言語学)



河野 美千代
愛媛大学 教授
(教育実践学)



立松 大祐
愛媛大学 教授
(英語科教育)



田中 雅人
愛媛大学 教授
(スポーツ教育学)



玉井 輝之
愛媛大学 准教授
(技術科教育)



向 平和
愛媛大学 教授
(理科教育・生物教育)



吉村 直道
愛媛大学 教授
(数学教育)



宮本 春奈
愛媛大学附属幼稚園 教諭
(幼稚園・小学校実践)



水口 達也
愛媛大学附属小学校 教諭
(小学校・理科)



真木 大輔
愛媛大学附属中学校 教諭
(小中高・理科)



川本 孝
愛媛大学附属特別支援学校 副校長
(特別支援教育)



横山 泰士
愛媛大学附属高等学校 教諭
(高校・農業)



大山 くらら
愛媛大学附属高等学校 教諭
(中高・英語)



大西 裕里
愛媛大学 研究補助員
(教育研究支援)

才能教育センターメンバー紹介

客員教授・准教授



松村 暢隆
関西大学 名誉教授



Julia Link Roberts
Mahurin Professor, Western Kentucky University



Rena Subotnik
Academic Talent Development Program, University of California Berkeley



石川 裕之
京都女子大学
高等教育開発センター 教授



Heidrun Stoeger
Chair for School Pedagogy, Universität Regensburg



Kimberley L. Chandler
Director of Curriculum,
Center for Talented Youth,
Johns Hopkins University



角谷 詩織
上越教育大学 教授



Jae Yup Jared Jung
Professor, The University of New South Wales



Jiyoung Ryu
Director, Gifted Policy Center, KAIST Global Institute For Talented Education



Erkki Tapio Lassila
神戸大学
人間発達学研究科 准教授

特定研究員



Sanjita Prasad



森本 久美



新井 しのぶ
中村学園大学教育学部 講師



吉川 あすか
小郡市立三国小学校 教諭



Antonnette Pawilen
愛媛大学 研究生

客員研究員

※ 所属等は2025年12月現在

特異な才能のある子供への教育をめぐるよくある誤解

誤解1 才能は教育がなくても開花する

正 才能のある子供であっても、適切な教育と挑戦の機会がなければ、その能力を十分に発揮することはできません。

誤解2 全ての子供が才能のある子供である

正 全ての子供はかけがえのない存在です。一方で、同じ年齢や経験の集団の中で、特に突出した能力を示す子供がいます。

誤解3 才能は IQ で十分わかる

正 知能検査は才能を捉える一つの手段ですが、複数の観点と多様な方法を組み合わせて見取ることが大切です。

誤解4 才能のある子供は困難を伴わない

正 才能のある子供の中には、学業不振や学校適応の困難を経験する場合があります。才能と困難を併せ持つ子供もいます。

誤解5 才能児は学習面だけ教育すれば良い

正 才能のある子供を教育・支援する際には、学習面だけでなく社会性や心理面も含めて理解することが大切です。

誤解6 才能教育は特別扱いである

正 才能のある子供への教育は選別を目的とするものではなく、多様な背景をもつ子供の学習ニーズに応えるためのものです。

特異な才能のある児童生徒への支援に関する研修動画を公開しています。

出張による研修にも対応いたします。本センターの「相談・問合せ」よりご連絡ください。



研修動画公開ページ